

## 一般選抜学力総合（前期）

## 【1】

問1 ① 日本 ② イギリス ③ アメリカ ④ イギリス ⑤ フランス

(1) 53.1 (2) 43.6 (3) 40.3 (4) 39.6 (5) 37.4

問2 資本主義の初期には、慣習的に労働時間があまり変化しなかったから、賃金は時間に関係なく1日いくら、1週間いくらかと固定されていた。しかし、産業革命の時代に長時間労働が広がるにつれて、延長された時間が「タダ働き」になる固定賃金制は労働者に受け入れられなくなったため。

問3 基準となる労働時間が確立されること  
時間外労働に対する割増賃金の支払いがおこなわれること

問4 オ

問5 ウ

問6 労働組合法

問7 国際労働機関

問8 使用者は、労働基準法第36条によって労使協定を締結して労働基準監督署に届ければ、時間外および休日にくら長期労働させても罰せられないという抜け道が用意されており、労働時間の延長の限度を厳しく定めたILO1号条約の規定と相容れないものであるため。

問9 エ

問10 女性の残業規制、1日2時間、1週6時間、1年150時間を撤廃するのではなく、男性にこの残業規制を適用させるよう法改正するべきであったこと。

問11 ・1987年の労基法の改定

1週40時間・1日8時間労働制に改定したが、1日8時間は週40時間の割り振りの基準とされ、変形労働時間制が1週、1ヵ月、3ヵ月単位となり拡大した。また、みなし労働時間制、フレックス制、裁量労働制が導入された。

・1997年の男女雇用機会均等法の改定

18歳以上女性の1日2時間、1週6時間、1年150時間の残業規制が撤廃された。

問12 ウ

【2】

問1 ④

問2 ②

問3 輩出

問4 ④

問5 へいせつ

問6 (模範解答)

宇宙ビジネスは新たな産業であるため、技術的に実現可能であるか、必要資金は調達できるのか、需要は本当にあるのか、優秀な人材を集めて定着させられるかなど様々なリスクが発生する。

そのため、技術的に我が国が世界から評価されている面を活かし、株式市場では多くの投資家にリスクを踏まえた投資が円滑に行われるようにし、新たな需要を創造し続けることを絶やさず、そのための優秀な人材を我が国に集約させられるだけの環境を整えていくことが肝要であると考える。

(218字)